

町田地区保護司会だより

第88号

発行 町田地区保護司会
会長 熊澤 洋
編集 広報部
TEL 042(707)7159



野津田公園「バラの広場」にて



着任のご挨拶

東京保護観察所長 久保 貴

本年4月1日付で東京保護観察所長にまいりました。東京の更生保護の伝統を引き継ぎ、さらに発展させるために努力してまいりますので、皆様方のお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

皆様方には、平素、保護観察や環境調整などの処遇活動、地域における犯罪予防活動、保護司会の運営や関係諸機関・団体との連携、社会貢献活動（社会参加活動）や更生保護サポートセンターの設置・運営、就労支援など、多様な更生保護の諸活動に御尽力いただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

私事ですが、平成16年度には八王子支部（現在の立川支部）で支部長をいたしましたので、8年ぶりの勤務になります。支部長在籍時には、支部管内のすべての保護区にうかがい、皆様方といろいろお話をすることができました。各保護区と分区の活動だけではなく、多摩地区保護司会連絡協

議会としても大変活発に活動されていることを思い出しております。今も変わらず熱心に活動されていらっしゃることを、心強く感じております。

最近の更生保護の動きを見ますと、保護観察処遇の施策が次々に出され、変革の時期を迎えております。保護観察処遇の効率化、制度の見直しなどに焦点が当てられておりますが、その根本には、立ち直ろうという本人の気持ちを地域全体で支えていこうという更生保護の理念があります。現在法務省においては、就労支援、住居確保の支援、高齢又は障害により特に自立が困難な者に対する支援などの社会復帰支援策を進めるとともに、地域における保護司会活動の拠点となる更生保護サポートセンターの設置も推進しております。

本人の気持ちを地域全体で支えるという理念を大切にして、一步一步着実に更生保護の諸活動を進めてまいりますので、皆様方の御支援をよろしくお願いいたします。

平成24年度 定期総会報告



平成二十四年度
町田地区保護司会定期総会

5月9日町田市民ホール会議室において、多数のご来賓をお迎えして、定期総会が開催された。

中村副会長が司会進行を務め、嶋崎副会長の「今年は町田地区保護司会が南多摩保護区から独立して30年になる」という開会のことばで始まり、熊澤会長は町田市役所の新庁舎落成・移転に伴うサポートセンター町田の移転について話された。



その後議長に南分區の内田絢子氏が選出され、各議案は拍手多数により、全て承認可決された。

古田東京保護観察所立川支部長から「社会貢献活動」について説明があり、多様化する保護司の活動を改めて認識する総会であった。

ご来賓の方々から祝辞をいただいた後、小林副会長の閉会のことばで終了した。

(広報部 桐生 敏子)



内田議長



古田支部長



森久保多摩連会長



中村福祉総務課長



藤田市議会副議長



武智町田警察署長

〔主 な ご 来 賓〕

東京保護観察所立川支部長	古田 康輔 様
町田地区担当主任保護観察官	武井 和宏 様
町田市地域福祉部	
福祉総務課長	中村 肇 様
事業係長	武井 和哉 様
町田市議会副議長	藤田 学 様
町田警察署署長	武智 秀弘 様
生活安全課長	大井 忠夫 様
少年第一係長	田中 清司 様
南大沢警察署	
生活安全課長	三澤 誠 様
多摩地区保護司会連絡協議会会長	
	森久保康男様
町田桐友会会長代理	加藤 薫 憲 様
町田地区更生保護女性会会長	上谷さと子様

サポートセンター 静岡市葵区保護司会・小田原地区保護司会 視察受け入れ報告

去る2月24日
静岡市葵区保護
司会、3月15日
小田原地区保護



葵区保護司会をお迎えして

司会のサポートセンター町田視察を相次ぎ受け入れた。

両地区は、今年度サポートセンター開設に向けて準備の一環としての視察である。現在、共に市や社協が事務局をつとめており、会全員への通知文書の作成やその他の事務を行っている。

ひまわり相談の質問や市との関係、運営経費、企画調整保護司の選出方法等活発な質問や意見交換が行われ、両地区共開設に向けての熱い意欲が感じられた。交流を持てたことに感謝している。

(サポートセンター駐在員 友井 文代)



小田原地区保護司会の方々

南分区 桜まつりでの活動報告

南分区社明運動の恒例の行事となった「チャリティー」は分区内の更生保護施設「鶴舞会」への支援目的で、ここ数年（去年は震災のため中止）恩田川川岸周辺の桜祭りに参加しております。

好天に恵まれた4月7・8日、桜も満開に近く多くの人出で賑わいました。ティッシュとファーストエイドの広報資材の配布と共に、綿菓子とポップコーンの販売を行いました。2台の綿菓子機でも行列ができ、隣の出店者に迷惑がかかるほどでした。綿菓子作りも熟練された先輩に手ほどきを受け上手く出来るようになりました。また、今年は近年退任された保護司OBもお揃いのジャンパーで参加して下さり、コミュニケーションもとれ、より一層の結束が図れました。

お陰で、売上も当初の目的を達成し寄付金を鶴舞会へお贈りすることが出来ました。処遇支援金として活用されるということで、感謝されました。

(南分区 井上 陽子)



堺分区 自主研修報告

4月20日に堺市民センター会議室で自主研修を行った。講師は東京都立中部総合精神保健福祉センターの藤本豊氏で「性同一障害者・精神障がい者等に対応するときの心構え」として基本的な内容を話していただいた。

性別とは何か？ 生物学的な性、社会が望む性別的役割、恋愛対象としての性など非常に複雑に分類されるが、本人をそのまま受け入れて対応することが一番大切である。また、精神障がい者は

南分区 自主研修報告



6月5日、南分区は自主研修を実施しました。順調に第一の見学地「神代植物公園」へと到着。折しも皐月（さつき）展が開催されていました。

「名物に美味しいものあり、深大寺そば」皆さんお昼寝タイムが必要なほどの大満足な老舗そば店での昼食を終え、予定時刻には府中刑務所正面入り口に到着。かつて勤務経験のおありの根本先生（鶴舞会）も合流し、18名にて所内へ進みました。

横井課長のレクチャーと先導にて充実した研修となりました。特に印象に残ったのは「房」の書棚の上の壁に黒い一本線があったことです。これは個人の持ち物の多少が房内の貧富の差を生み出し、持てる者が持たざる者を支配することの無いようにとの所側の配慮であるとのこと。受刑者に対する深い見識を感じました。

最後に刑務作業への協力と犯罪被害者支援の買物をバスに乗せて、帰路につきました。

(南分区 鈴木 忠)

何が苦手と何に困っているのかを表現するのが難しく、イライラして怒り出したりするので、一つ一つ具体的に対応し指示を出すことが大切である。

藤本氏の図表を用いた説明は大変わかり易く、性同一障害者や精神障がい者だからといって身構える必要はなく、目の前にいる相手をよく見て対応すればよいのだと納得した。

(堺分区 桐生 敏子)



町田分区
長谷川 美由紀

この度5月25日付で、保護司の仲間入りをさせていただきました。

私などに何ができるものかといろいろ思い考えましたが、日々の時を共に成長できましたらと思ひ決心いたしました。

2日間の研修を終え、スタートラインに立たたかどうか、全て手探り状態ですが、諸先輩方の指導のもと、精一杯頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

新任

—ご挨拶—



忠生分区
富岡 淳一

このたび、5月29日に法務大臣から保護司の委嘱状をいただきました富岡淳一と申します。どうか宜しくお願いいたします。私事ですが、3月末をもって町田市を退職し、現在は、せりがや会館内にあります「まちだ地域生活支援センター」で精神障がい者ご家族への相談支援を行っております。保護司の活動に密接に繋がることが多々あるかと思ひます。先輩保護司の先生方にご指導をいただき、責任ある仕事をいたします。



南分区
石田 充

5月24日を以て退任しました。12年間でしたが、さまざまな出会いがあり、貴重な体験もありました。携帯や車について教えられたこともありました。転居して遠くになっても、面接の5分前に姿を現した長期対象者もいました。学校ではかなり問題を起こしたが、礼儀正しい好青年に変わった例もあります。対照的に保身に知恵を絞り、言い訳や嘘が多かった者もいました。心残りが数多くあります。在任中は主任官、皆様から数々のご指導をいただき有難うございました。会の発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

退任

—ご挨拶—



南分区
中里 猪一

保護司の委嘱を受けてから18年になりますが、その間会員の皆様には一方ならぬお世話になりました。

保護司の本務とする更生保護活動におきましては、多くの対象者と接する中に、世の中の矛盾や人生のはかなさのようなものを想うこともありました。しかし、既に思い出の中のことになりました。

地区保護司会の組織では地域活動部理事から始まって総務部で部長、引き続き副会長を務めさせていただきました。この時最初に制定されたサポートセンター設置に向けて手を挙げ、一致した地区会の成果が認められ初年度設置の栄誉を得ました。

今後とも更生保護の重要性は高まるものと思われまふ。更なる会員各位のご活躍をお祈りし、退任のご挨拶と致します。

町田桐友会が平成24年度総会を開催

6月26日、徳樹庵にて会員13名、町田保護司会より熊澤会長以下常任理事13名、計26名の出席を得て総会が行われた。

体調がまだ回復されず、欠席となった杉山会長の代理として宮本副会長と加藤事務局員の進行で滞りなく終了した。

最高齢の鈴木会員(94歳)が、ご子息の鈴木(忠)保護司と出席されて歓談される姿は、我々の指針を見るようで嬉しく思った。

(桐友会連絡担当 鬼頭 加壽代)



編集後記

市庁舎の工事現場近く「がんばろう日本、町田から元気を！」の垂れ幕を毎日見る。その象徴のように日々、市庁舎建設が進んでいる。明るく輝く市庁舎を見ると、未来への期待と誇りが湧く。

市庁舎移転に伴い、町田保護司会のサポートセンターも広いスペースの提供を受ける。広いスペース=充実したサポート、というわけではない。しかし、広く新しい空間、というのは人の気持ちを少し明るくするのではないだろうか？少なくとも私はキレイな空間にいると心が浮き立ってくる。若者たちもそうであってほしいと思う。

若者に希望と勇気を持つことができる社会とは？と、常に問いかけ、自分にできることを精一杯取り組んで行きたい。

橋田記